

令和 3 年度下野市男女共同参画推進委員会 事前質問回答

■資料 2

第二次下野市男女共同参画プラン 進捗状況報告書【全事業】

○質問数…1

| ページ | 【質問者】 質問 | 回答 |
|------------|--|--|
| p.8 (1) | <p>【榎木久美子委員】</p> <p>「ひとり親家庭や生活困窮者等に対する支援の充実」について、『新型コロナウイルス感染症により相談者が増加している』とのこと。</p> <p>財政的にも厳しい状況となると思うので、寄付金等、何か援助・協力できることはあるか。</p> | <p>【財政課】</p> <p>財政課では昨年度、市民の方からは特別定額給付金の一部や全部のほか、御遺志での現金寄付を、事業者からはマスク等の物資を多数ご寄付いただき、市政運営に役立てさせていただきました。</p> <p>公表可の方については、広報しもつに掲載し、都度周知しています。</p> <p>※病院・医療従事者への寄付は、市では受け付けておりません。</p> <p>【社会福祉課】</p> <p>社会福祉課にて、住居確保給付金及び新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請を受け付けています。</p> <p>また、コロナ禍における収入減少に対応するため、生活困窮者自立支援事業として生活福祉資金の貸付を社会福祉協議会で実施しており、生活困窮者自立相談支援事業も合わせて利用してもらうことで、自立に向けた支援を行っています。</p> <p>これらの事業は、国からの補助金を活用しています。</p> <p>【こども福祉課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う必要があることから、こども福祉課では、「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」の支給を実施しております。</p> <p>この事業は、国からの補助金を活用しています。</p> |

■資料 4

下野市配偶者等からの暴力対策基本計画 進捗状況報告書【全事業】

○質問数…1

| ページ | 【質問者】 質問 | 回答 |
|---------------------|---|--|
| <p>p.3 No.4</p> | <p>【楡木久美子委員】 一時保護者件数が 6 件と増えており、表に出していない件数もまだある可能性が考えられる。 市の DV ホットラインの周知も必要ですが、周りの人たちも積極的に相談できる体制がほしい。</p> | <p>【こども福祉課】 DV に関する相談が増加傾向にある中、潜在的に DV に悩む人たちが存在することは十分に考えられます。こども福祉課では、令和 2 年度に家庭相談グループの新設により相談体制を整えたところでありますので、DV ホットラインの周知と併せ、潜在的に DV に悩む人たちを救えるよう、相談スキルの向上を図っていきます。 デート DV 防止に関しても、令和 3 年度より市内の中学生を対象に防止啓発講座を実施するなど、若年層を含めた啓発の拡充を行っています。</p> |
| | | <p>【市民協働推進課】 DV ホットライン周知については、成人式で実施するなど機会拡大に努めてきました。併せて、新型コロナウイルスのまん延をきっかけに、内閣府により様々な相談窓口が設置されていることを、SNS やホームページ等を通じて呼びかけています。 また、DV 被害は女性に限られたものではありませんが、「女性に対する暴力をなくす運動」の一環として、パープルリボン周知を 11 月に実施し、賛同いただける方にリボンを配付することで暴力根絶を呼びかけています。 DV 相談は、児童相談所や警察、人権擁護委員等への相談のほか、第三者の通報等から明らかになる可能性も十分に考えられます。家庭の中で発生し、外から見えにくいとされる DV ですが、関係機関との連携強化や被害者の周囲の人の方に DV を意識づけることで、各種相談機関へ繋げる一助となればと考えています。</p> |